



北海道の道路緑化に関する技術資料(案)について



道 路の緑化にあたっては、計画・設計・施工から維持管理までの指標が重要となりますが、北海道においては現場の技術支援となる基準類は殆どありません。最も参考にされていると考えられる「北海道の道路緑化指針(案)」(北海道開発局監修、昭和62年)も発刊から20年以上が経過し、内容の改訂が必要となっています。

そこで、この指針(案)を補足する参考資料となる「北海道の道路緑化に関する技術資料(案)」を作成しました。

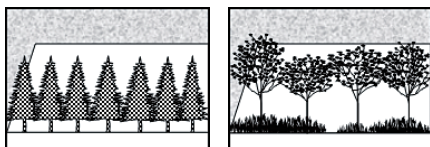
技術資料(案)作成の背景

道路緑化は従来の安全運転機能、景観造成機能、環境保全機能を継承すると共に、時代の変化に対応し、より魅力的な空間を創出していくことが求められています。さらに、最近は、経費節減が求められる社会情勢にあることから、費用の掛からない維持管理手法など新たな技術を導入する必要があります。そこで、現段階で即時対応可能な項目について「北海道の道路緑化指針(案)」を補足する技術資料を取りまとめました。

北海道の道路緑化に関する技術資料(案)

第1章 北海道の道路緑化で用いる樹種

基本的な樹種の性状として、常緑樹と落葉樹、及び針葉樹と広葉樹の北海道への適性と導入の際の注意点、また北海道に適した樹種選定の考え方について記載しています。



▲常緑針葉樹と落葉広葉樹

第2章 樹木導入手法

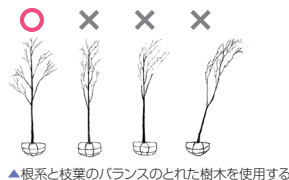
樹木の導入手法について、現況に即して既存資料の内容を見直し、現在記載の手法の修正や新たな手法の追加を行っています。また、樹木の大きさ等による導入方法について図解で説明しています。



▲樹木導入手法 伐株移植
(伐株を掘り起こし、仮植または造成された植栽基盤に移植する)

第4章 樹木の植栽

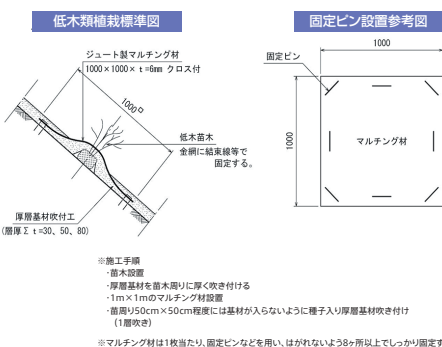
植栽施工を図説し、植栽時の留意事項を整理しました。また、形式別に支柱の標準図を記載しています。



▲根系と枝葉のバランスのとれた樹木を使用する

第5章 切土法面の植栽

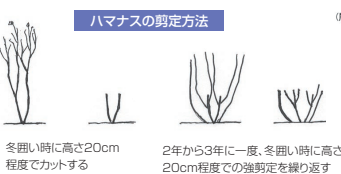
切土法面で木本緑化を行う場合の樹種選定や植栽方法について記載しています。



▲苗木設置吹き付施工図と施工手順(例)

第6章 樹木の維持管理

北海道の代表的な樹種の剪定や整枝方法、病虫害防除法、支柱管理等について記載しています。

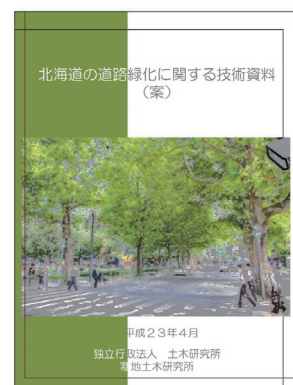


ハマナスの剪定方法

冬期時に高さ20cm程度でカットする

2年から3年に一度、冬期時に高さ20cm程度での強剪定を繰り返す

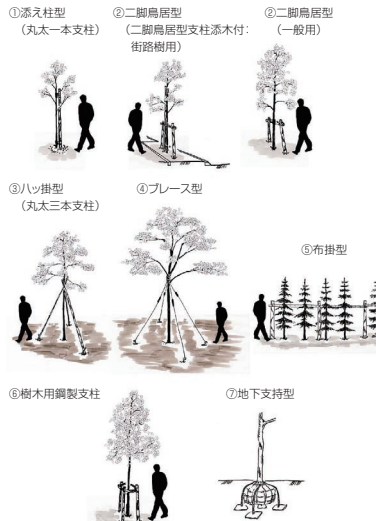
北海道の道路緑化に関する技術資料(案)



第3章 植栽の設計

植栽の設計と施工に章を分け、植栽設計の手順を示し、支柱の選定フローを整理しました。

支柱型式一覧図



北海道の道路緑化に関する技術資料(案)の位置づけ

「北海道の道路緑化に関する技術資料(案)」は、現段階で現場で活用できるよう技術を取りまとめたものです。そのため、現状の道路緑化の全てに対応している訳ではありません。

現行の基準である「北海道の道路緑化指針(案)」においては、緑化目標や道路事業のどの段階で道路緑化の計画を進めるかが明確でない等、改訂が必要な項目があります。本資料は「北海道の道路緑化指針(案)」が改訂されるまでの間、現場での参考資料として活用できます。

北海道の道路緑化に関する技術資料(案)の入手方法

「北海道の道路緑化に関する技術資料(案)」は、広く利用していただけるよう、寒地土木研究所 地域景観ユニットのWebサイトで公開しており、PDFを閲覧・ダウンロードしてご利用いただけます。

寒地土木研究所 地域景観ユニット Web サイト



URL
<http://scenic.ceri.go.jp>